

まちの将来像の実現に向けて、まちづくりの展開の進め方について整理しました。

6-1 ひと中心の都市デザインの考え方

浦和のまちが目指すまちの将来像を実現するためには、まちづくり方針（浦和のまちの魅力が成長するリ・デザイン、浦和のひとが成長し続けるサステイナブル・サイクル）を踏まえて、取り組んでいく必要があります。

そのため、デジタル技術等を効果的に活用しつつ、地域資源を生かしながら新たな創造を生み出す、ひと中心の「都市デザイン」をまちづくり全体に共通する考えとして進めていきます。

都市デザインでは、まちの個性やひとの活動に即したまち並みの調和を図ることや、展開で示した各ゾーン、軸とそれらの中間領域で、様々な触媒（ヒト・モノ・コト・情報）を通して化学反応が起き続ける仕組みなどを検討し、浦和のひととまちの更なる成長や生活の充実を目指します。

このような都市デザインの検討を進めていくにあたり、浦和のひとがまちづくりに参画できる様々な場や機会を創出していきます。

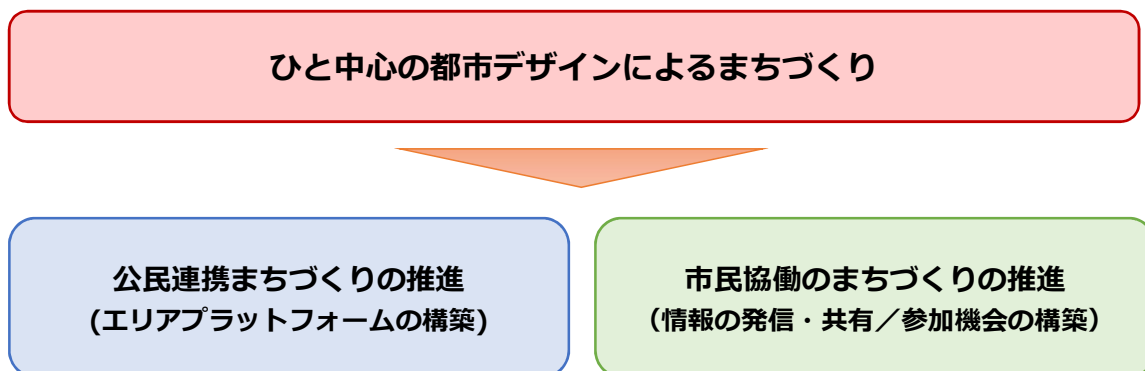


図 まちの将来像の実現に向けたまちづくりの進め方

(1) 公民連携まちづくりの推進

今後は行政主導ではなく、地域住民や企業、まちづくり会社・団体など多様な主体で公民連携のまちづくりに取り組むことが求められます。

① エリアプラットフォームの構築

浦和のまちにおいて、浦和のひとや企業等がまちの現状や課題、将来像を認識・共有し、同じ目標や方向性をもって共にまちづくりに取り組むために、「エリアプラットフォーム」の構築を目指します。

エリアプラットフォームには、浦和のまちを創るひと・使うひと・維持管理するひとなど、主体的にまちづくりに関わる様々なひとが参加し、ゆるやかなつながりで連携してまちづくりを進めます。

また、エリアプラットフォーム構築後のまちづくりの推進にあたっては、地域主体のまちづくり組織（エリアマネジメント）の推進も視野に検討を進めていきます。

※エリアプラットフォームとは……

行政をはじめ、まちづくりの担い手であるまちづくり会社・団体、企業、自治会・町内会、商店街・商工会議所、住民・地権者・就業者などが集まって、まちの将来像の実現に向けた取組について協議、調整を行う場

※エリアマネジメントとは……

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組

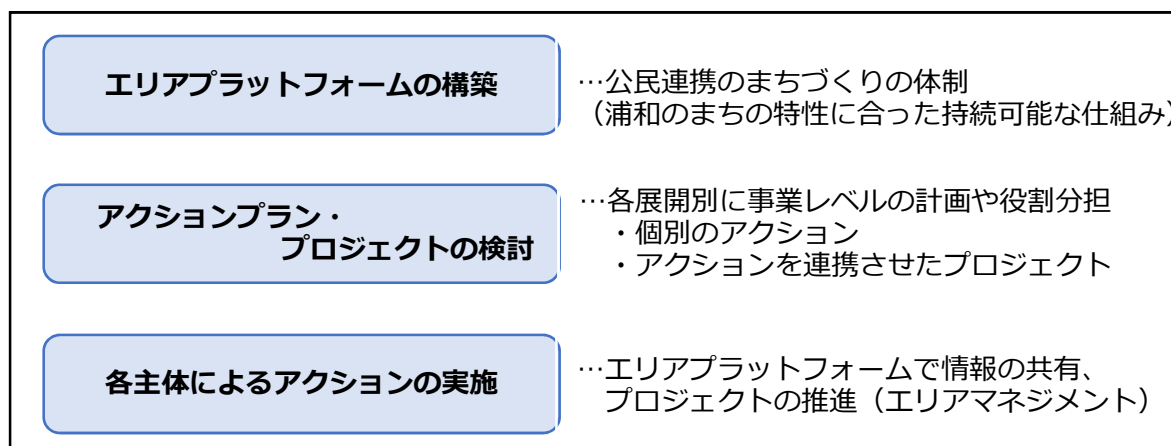


図 公民連携まちづくりの推進イメージ

(2) 市民協働のまちづくりの推進

今後、市民協働のまちづくりを推進する上で、地域のコミュニティ形成は欠かせません。浦和のまちでは、今後、年齢・性別・国籍等に関わらず誰もが参加できる機会や仕組み（コミュニティデザイン）を構築し、市民協働のもとまちづくりに取り組んでいきます。

① 多様な手法によるまちの情報の発信・共有

“まちづくり”は“ひとづくり”であり、浦和のひとがまちを知り、考え、話し、伝え、共感することは、まちの「愛着度」や「Well-being（幸福な状態、生活の豊かさ）」の向上につながります。

そのため、より多くの浦和のまちの子どもたちや親世代、来街者などに、浦和のまちの魅力や歴史・文化等を知ってもらえるよう、浦和のファンづくりを進め、様々な団体との連携やデジタル技術を活用した視覚（ビジュアル）化に取り組み、多様な手法でのまちの情報の発信・共有に努めます。

また、まちの情報を正しく知ることで、地元での顔見知りが増えるなど、まちの安心・安全につながるとともに、地域内で消費活動や経済循環につながり、持続可能な地域社会の構築に寄与することができます。

② 市民がまちづくりに参加できる機会の構築

「住み続けたいまち・魅力的なまち」とは、浦和のひとが“まちを好きかどうか”や“主体的にまちづくりに関わっているかどうか”が1つの判断基準となるとともに、住民同士のコミュニティの醸成が図られていることが重要です。

そのため、市民等への積極的な道路・公園等の公共空間の開放や共同イベントの開催等を促進し、子どもたちや若い世代、親世代などをターゲットに、地元愛にあふれた浦和のひとが主体的に楽しさややりがいをもってまちづくりに参加できる機会や仕組みづくりに取り組んでいきます。

また、さいたま市役所や旧さいたま市民会館うらわでの公共公益施設の建設等にあたっては、構想・計画段階から多様な手法により積極的な市民意向の導入を図り、施設の利活用や維持管理面において、市民等の利用のしやすさに配慮し、検討を進めていきます。



図 浦和のファンづくりのステップ

6-2 アクションプランの検討

今後、まちづくりの展開1～4毎に、具体的な取組の推進・実現に向けた「アクションプラン」の検討を進めていきます。

アクションプランは、将来像の実現に向けて取り組むべき事業（プロジェクト）を検討・抽出し、その計画概要や公民の役割分担・検討体制、事業実現に向けたスケジュール等を示すものであり、現庁舎地の利活用検討のように、特に将来像の実現に向けて重点的に取り組むべき事業については「リーディングプロジェクト」として位置付けていきます。

リーディングプロジェクトは、事業の具体化に合わせ、「総合振興計画実施計画」へ位置付けるなど、PDCAサイクルによる計画的な事業の進捗管理に取り組みます。

また、個別事業の推進にあたっては、事業関係者による「エリアプラットフォーム」等を構築し、市民協働・公民連携のもと、事業の推進に向けた情報の共有や発信、活動や取組の連携を図っていきます。

表 展開毎のアクションプランの検討イメージ

【都市デザイン】

事業・プロジェクト（案）	エリアプラットフォーム（検討体制）（案）	キーワード（案）
浦和デザインプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・芸術家・建築家・デザイナー ・民間事業者 ・NPO 法人 ・さいたま市 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりのデザインコード(ガイドライン) 等

【展開1】浦和の文化・教育・スポーツを日常で体感し、楽しめる場の創出

事業・プロジェクト（案）	エリアプラットフォーム（検討体制）（案）	キーワード（案）
グローバル人財の育成プロジェクト(高砂小学校)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・教育機関 ・芸術家 ・スポーツ事業者 ・さいたま市 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり DX ・3D 都市モデル 等

【展開2】県都・都心にふさわしい、風格のあるまちの再構築

事業・プロジェクト（案）	エリアプラットフォーム（検討体制）（案）	キーワード（案）
公共施設の建替え等に合わせたまちづくり検討プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎地の利活用検討 ・旧市民会館うらわの利活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・商業・サービス事業者 ・埼玉県 ・さいたま市 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備 2.0(柔らかい再開発等) ・グリーンインフラ ・脱炭素 等

【展開3】浦和らしい、多様なライフスタイルを実現できる居住環境の形成

事業・プロジェクト（案）	エリアプラットフォーム（検討体制）（案）	キーワード（案）
浦和らしい都心居住の推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・子育て事業従事者 ・福祉事業従事者 ・商業・サービス事業者 ・さいたま市 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム ・優良建築物等整備事業 等

【展開4】誰もが快適に移動できるネットワークの強化

事業・プロジェクト（案）	エリアプラットフォーム（検討体制）（案）	キーワード（案）
まちなかウォークアブル推進プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民 ・埼玉県 ・さいたま市 ・交通事業者 ・民間事業者 ・商業・サービス事業者 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなかウォークアブル ・歩行者利便増進道路 等